

# CASBEE® 広島

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム ころろ	階数	地上2F
建設地	広島県広島市安佐北区安佐町鈴張	構造	木造
用途地域	宅地造成危険区域、一般区域(景観計画関係)	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2017年5月12日
敷地面積	3,160㎡	作成者	宮森洋一郎建築設計室 明田昌也
建築面積	1,723㎡	確認日	2017年5月12日
延床面積	2,039㎡	確認者	宮森洋一郎建築設計室 宮森洋一郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.7</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q のスコア = 3.3</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア= 3.2</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア= 3.2</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア= 3.5</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p><b>LR のスコア = 3.6</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア= 4.4</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア= 2.6</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア= 3.7</p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = <b>3.5</b></p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = <b>3.9</b></p> <p><b>設計の計画上添段に配慮した事項</b></p> <p>居住スペースの屋根の庇を深くし、室内の温熱環境が比較的安定しやすいよう配慮している。//各室で空調を個別制御することで、無駄な消費エネルギーが発生しないよう配慮した。//製材の際に発生する二酸化炭素の排出による環境問題に配慮し、大半に木造を採用した。//極力自然の空気や、日照を取り込める計画とすることで、設備機器のエネルギー消費を抑えることのできる計画としている。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = <b>2.3</b></p> <p><b>設計の計画上添段に配慮した事項</b></p> <p>/</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = <b>3.1</b></p> <p><b>設計の計画上添段に配慮した事項</b></p> <p>分棟に近い計画のため、各所にエキスパンションジョイントを設け、地震時の揺れにより、躯体が破損しにくい構造となっている。/</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される